レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	介護福祉士増加に向けた代替職員確保策（介護福祉士試験の実務者研修等に係る代替職員の確保事業）			部（局）	福祉部
				所管課	高齢政策課
				担当班	介護人材対策班
				連絡先	078-362-4401
開始年度	H25	終了年度	ー	関連計画等	兵庫県老人福祉計画（第8期介護保険事業支援計画）
事業区分	□ 国補助事業　☑ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　□ 委託　☑ 補助　□ その他（　）			実施主体等	介護サービス事業所

事業目的	介護職場では職員の資質向上とキャリア形成が大きな課題であり、介護福祉士試験の受験資格要件となる実務者研修等の受講促進が必要である。しかし、受講に際しては、一定期間職場から離脱せざるを得ず、小規模事業所等では他職員の負担が過大になるため受講ができないケースがある。そこで、代替職員の確保を支援することにより、職員の研修受講を通じたキャリアアップを促進し、介護人材の資質向上と定着に繋げる。
事業概要	介護事業所の職員が実務者研修等を受講する際に必要となる代替職員雇用経費を補助する。 ・対象研修：実務者研修、介護職員初任者研修、喀痰吸引等研修、認知症ｹｱに携わる介護従事者の研修 ・雇用期間：直接雇用(1ヶ月以上6ヶ月以下)、派遣職員(6ヶ月以下)、直接雇用(1ヶ月未満)(R8年度より拡充) ・勤務時間：常勤労働者の勤務時間の3/8以上(H31年度より緩和) ・補助要件 直接雇用(1ヶ月以上6ヶ月以下)：実務者研修等に現任職員を派遣した延日数が、代替職員の勤務日数の4分の1以上 派遣職員(6ヶ月以下)、直接雇用(1ヶ月未満)：実務者研修等に現任職員を派遣した延日数に2を乗じた日数を、代替職員の勤務日数の上限とすること
業務フロー	募集（県）→申請（事業者）→受付・審査（県）→事業実施・実績報告（事業者）→交付（県）
R5レビュー時の外部委員会意見	・代替職員が集まる施設の好事例を調査してはどうか。その上で、その好事例が他施設でも取り入れられるよう、経営者向け研修等、 経営者のマインド改革を促す仕組みづくりも検討してはどうか。 ・派遣人材は補助の対象外となっているが、そこを規制緩和することも検討してみてはどうか。 ・代替職員の確保数はアウトカム指標とすべき。
改善結果（改善状況 取組過程）	※R5レビューを踏まえた取組を実施し、現状に至るまでの取組過程や事業改善のプロセスを記載してください。 また、改善しなかった場合はその過程を記載してください。 ※他の部局にも紹介できる取組として、特に力を入れた改善の取組があれば、その内容を記載してください。 レビューを踏まえ、事業所へのヒアリングを実施したものの、人材が集まりやすい施設の傾向等把握が十分ではなかったため、引き続き情報収集に努める。 なお、派遣人材の活用については他府県の取組事例も調査しながら、R6年度に派遣人材を補助対象とする要件緩和を実施したところ、本事業による代替職員の確保数は増加し、介護職員の研修受講を促すことができたとみられる。更なる改善を図るため、事業者と協議し、R8年度からはスポットワーク（直接雇用）を想定した、1ヶ月未満の直接雇用も対象とした。

事業に要するコスト

区分			５年度決算額	６年度決算額	７年度決算額	８年度当初予算額
事業費①			6,064 千円	6,695 千円	4,976 千円	11,400 千円
経費内訳		報酬・賃金				
		委託料				
		補助金・交付金	6,064 千円	6,695 千円	4,976 千円	11,400 千円
		貸付金				
		その他				
（財源内訳）		(国庫)				
		(特定)	(6,064千円)	(6,695千円)	(4,976千円)	(11,400千円)
		(起債)				
		(一般財源)				
予算額② ※精算補正前の予算を記載			3,750 千円	5,500 千円	12,000 千円	11,400 千円
執行率(((①/②)×100)			161.7%	121.7%	41.5%	100.0%
人件費③（a＋b＋c）			従事人員 0.05人	従事人員 0.05人	従事人員 0.05人	従事人員 0.05人
			413 千円	430 千円	450 千円	471 千円
	職員給与費	a	358 千円	369 千円	395 千円	410 千円
	賞与引当金繰入額	b	30 千円	31 千円	30 千円	31 千円
	退職手当引当金繰入額	c	25 千円	30 千円	25 千円	30 千円
総コスト(①＋③)			6,477 千円	7,125 千円	5,426 千円	11,871 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

評価指標	指標名	区分	５年度実績	６年度実績	７年度見込	８年度目標	最終目標【年度】
	成果指標(アウトカム指標①)	目標	470	470	470	470	
		実績（見込）	496	415	(400)	(400)	【年度】
	兵庫県実務者研修修了者数	(単位当たりコスト)	(13 千円)	(17 千円)	(14 千円)	(30 千円)	
		達成率（見込）	105.5%	88.3%	(85.1%)	(85.1%)	
	成果指標(アウトカム指標②)	目標	5	10	20	20	
		実績（見込）	10	19	(9)	(20)	【年度】
	代替職員の確保数	(単位当たりコスト)	(648 千円)	(375 千円)	(603 千円)	(594 千円)	
		達成率（見込）	200.0%	190.0%	(45.0%)	(100.0%)	
	成果指標(アウトカム指標③)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)					
		達成率（見込）					
	活動指標(アウトプット指標①)	目標	2	4	4	4	
		実績（見込）	2	4	4	(4)	【年度】
	募集回数	(単位当たりコスト)	(3,239 千円)	(1,781 千円)	(1,357 千円)	(2,968 千円)	
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)					
		達成率（見込）					
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績（見込）					【年度】
		(単位当たりコスト)					
		達成率（見込）					
標	終期設定	有（　　）・無					
	改善基準						

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	レビュー意見を踏まえ、R6年度から派遣職員を補助対象とする要件緩和を実施したことで前年より代替職員確保数が9人増加した。	B：ほぼ満足のいく実施状況 介護職員のキャリア形成のための資格取得促進において必要不可欠となる代替職員確保を推進するため、本事業では、近年の多様な働き方を取り入れ、要件緩和等で派遣職員やスポットワークを補助対象に追加し、利用幅を増やすことで、活用しやすくしている
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	勤務要件の緩和及び対象研修の追加といった業務改革に取り組んでいる。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：事業実施方法、要件（代替職員の勤務日数）等を、事業所が利用しやすい内容に改善し、活用事業者の好事例を横展開するなど、本事業の活用を促進

外部委員会意見

・R5レビューで指摘された派遣職員やスポットワークの活用を補助対象に加えるなど、制度改善への取組は評価できる。また、代替職員確保数も増加しており、事業の利用促進という面では一定の成果が認められる。
・一方で、本事業の政策目的である介護人材の資質向上や介護福祉士増加につながる成果指標（実務者研修修了者数）は目標未達であり、改善効果が十分確認できない。活動実績の増加が成果向上へどの程度寄与しているのかの検証も重要。
・R7は補助金の交付額が減少しているが、その理由を分析し、事務負担の軽減化等、改善が可能なものがあれば改善を図ることが望ましい。
・労働市場の逼迫により新規スポットでの採用が難しいのではないかと推察するが、既存職員の超過労働も補助金の交付対象にし、事業所内で研修受講に対する協力体制を促進させることも有効ではないかと考える。（事業会社の育児休業促進のための施策の事例あり）
・今後は、資格取得者数や定着率など事業効果を直接把握できる成果指標の設定や、代替人材確保の構造的課題への対応を進め、費用対効果を明確化しながら事業の実効性向上を図ることも求められる。